

令和6年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

家庭科

	指導上の課題の分析	授業改善の具体的方策	評価（成果と課題）
5 年	<p>○初めて学習する教科ということもあり、児童の興味・関心が高く、毎時間を意欲的に過ごすことができる。手先が不器用な児童が多いという実態があるので、縫うことの技能習熟を図る等丁寧に指導する必要がある。</p>	<p>○裁縫の基礎・基本がしっかりと身に付くよう、ミシンやアイロンの置く場所を整えたり、針やはさみなどの道具の片付けを指導したりしながら実施するとともに、実生活に生かせるような課題を工夫して設定する。</p> <p>○衛生的に活動するために、エプロンや三角巾などを身に付け、手洗いを丁寧に行う等、身支度の仕方を適切に指導する。</p>	<p>○裁縫の学習では、場を整えたり適宜片付けの仕方について指導したりすることで作業をスムーズに進めることができた。課題の設定を工夫したことで児童が実生活に生かせるようなものにしようと考えながら作品作りに励むことができた。</p> <p>○調理実習の際には、身支度の仕方を確認することで、衛生面に気を付けて活動することができた。</p>
6 年	<p>○献立作成や洗濯などの実習に意欲的に取り組んでいる。手先が不器用な児童が多いため、調理実習や裁縫の技能では丁寧に指導する必要がある。</p>	<p>○作業の工夫や道具の使い方、食生活や住まいについて、動画を活用するなどして理解を深める。家庭と連携することで、身近な実践例に触れられるようにする。</p> <p>○衛生的に活動するために、エプロンや三角巾などを身に付け、手洗いを丁寧に行う等、身支度の仕方を指導する。</p>	<p>○動画を活用しながら指導することで、作業や道具の扱い方などのイメージをもつことができ、安心して活動することができた。また、家庭と連携することで、児童の学習意欲が高まった。</p> <p>○調理実習の際には、身支度の仕方を確認することで、衛生面に気を付けて活動することができた。</p>